

令和4年度 麗澤幼稚園 自己評価

麗澤教育の理念

麗澤教育は、創立者廣池千九郎が提唱した道徳科学「モラロジー」に基づく知徳一体の教育を基本理念とし、学生生徒の心に仁愛の精神を培い、その上に現代の科学、技術、知識を習得させ、国家、社会の発展と人類の安心、平和、幸福の実現に寄与できる人物を育成する。

麗澤教育のめざす人間像

1. 大きな志をもって真理を探究し、高い品性と深い英知を備えた人物
2. 自然の恵みと先人の恩恵に感謝し、万物を慈しみ育てる心を有する人物
3. 自ら進んで義務と責任を果たし、国際社会に貢献できる人物

麗澤幼稚園の教育目標

- 思いやりのある子（思いやりの心）
- 感謝のできる子（感謝の心）
- たくましい子（自立の心）

【評価基準】

1：不十分 2：やや不十分 3：どちらともいえない 4：実施できた 5：しっかりと実施できた

1.教育について

評価項目	評価	取り組み状況
① 教育目標である「思いやりのある子（思いやりの心）、感謝のできる子（感謝の心）、たくましい子（自立の心）」を理解し、目標達成のために「心のドリル」等も活用しつつ、日々の保育や活動が工夫できていたか。	5	1学期は「思いやりの心」を意識し、新しく出会った友達同士が仲良くかかわれるよう取り組んだ。年少組の身支度の手伝いや異年齢で交流できる時間を設けることで、優しくいたわる経験ができた。2学期は「自立の心」を意識し、運動会や発表会等を通して、最後まで頑張りぬくたくまさを育てた。3学期は「感謝の心」が育つよう、友だちの良いところをたくさんみつけ、ありがとうの言葉を伝え合った。1年を通し、何かをしてもらおうと自然に「ありがとう」の感謝の言葉が聞かれ、心の育ちを実感できた。また、毎日朝の会では、子ども達の様子やその日の活動に合わせた内容の「心のドリル」を取り上げ、子ども達の心を育てる努力ができた。
② 園児の基本的な生活習慣を確立するための指導や援助はできていたか。	5	園生活の中で、所持品の始末の仕方、ロッカーの整理整頓の仕方、食事時のマナーや好き嫌いなく何でも食べることなど、繰り返し伝え、指導援助できた。昨年に引き続きコロナウイルス感染症の感染リスクを避けるため、マスクの着用、手洗いの励行、手指消毒についても繰り返し指導を行い、習慣づけることができた。
③ 子ども達が様々な体験を通して、諦めずにやり遂げる達成感や、友達と協力する喜びを味わっていたか。また、当番活動等を通じて、責任感や人の役に立つ喜びを体験できていたか。	5	行事だけではなく日常の活動を通して、友だちと協力し合い活動を楽しむ姿やチャレンジカードの項目ができるようになるまで努力する姿が見られた。また運動会や発表会などの園行事を通して協力しながら根気よく取り組み、自信を持てるような体験ができた。特に3学期はそれぞれ個人目標を立て、達成に向けて頑張り、達成感を味わった。また、当番活動では責任感を持って生き生きとやり遂げる姿が見られた。3学期は、年中児が郵便屋さんになりきり、配達を通して役に立つ喜びを満喫していた。

④ 異年齢交流等を通して、子ども達に思いやりの心や感謝の心を育むことができていたか。	4	感染リスク回避を考慮して制限されることもあったが、全学年が一斉に集まる活動も多少緩和され、年長、年中児はペアでじゃがいも掘りやさつまいも掘りに行くことができ、年長児には下級児をいたわり励ます経験が、年中児には年長児への憧れと信頼の心が芽生え良い経験となった。また、自由遊びや園生活のなかで、異年齢とかかわりを持つ機会も意識して取り入れた。
⑤ 立腰教育を通して、話を聞く姿勢を養うことができていたか。	5	朝の会や活動時など着座して話を聞く際は、正しい立腰の姿勢ができるよう声掛けをし、意識して姿勢を正せるよう取り組んできた。次第に立腰の姿勢が身に付き、集中力も増してきたことを感じる。
⑥ 特別活動（体育指導・英語教育）を通して、子ども達の成長を促す援助がなされていたか。	5	英語教育は、短時間のレッスンの積み重ねにより、外国人の方に英語で発話することを楽しみながら、ネイティブ講師の英語のみの問いかけに理解を示すなど英語力の向上ができた。 体育指導は専任の講師の指導により、子ども達は体を動かすことが大好きになり、また、楽しく英語を学ぶことができた。専任講師の補助を務めながら担任達も学びを深め、日々の保育の中に取り入れて活かし楽しむこともできた。
⑦ 園庭や学園の豊かな環境を通して自然現象や虫、植物等に親しみ、探求心や好奇心を育むことができたか。	4	春から秋にかけては虫探しを楽しみ、図鑑を見ながら虫について知識を深め、飼育に挑戦したり、園で孵したかぶとむしや捕まえたトカゲを観察し、虫に親しみ、生命の尊さにも気づけた。冬場は霜柱や氷を見つけて不思議がり、園庭での氷づくりにも取り組み自然事象に興味関心をもった。散歩や芝生に行き、季節によって木々の葉っぱの違いに気づく姿もあった。学年ごとに保育室前で植物栽培を行い、栽培を通して成長過程を興味深く観察できた。
⑧ 季節の行事を通して日本や世界の文化に親しみ、心豊かで逞しい子に育てることはできたか。	3	感染リスク予防に配慮しながら、全学年が集っての行事が、実施できた。また今年度は、もちつきも実施することができ、全員が餅を搗く経験ができた。日本ならではの文化に親しむことができ、餅が出来上がる過程や友だちと雑煮を食べる経験もできた。それぞれの行事を通して心豊かで逞しい子に育つよう、指導援助することができた。

2.保護者との連携について

評価項目	評価	取り組み状況
① 子ども達の園での姿について保護者に十分に伝えられてきたか。	3	コロナ禍の影響を受け、引き続き園庭での引き渡しとなりゆっくりとお話する時間を十分に取ることは難しかったが、出来るだけ保育中の様子を伝えたり、連絡ノートの活用や電話連絡等をこまめに行ったりと、情報共有に努めた。また、保育参観や個人面談時には、子どもの成長について話し合うことができた。
② 園児の成長や課題について保護者との情報共有がしっかりとできたか。	3	担任は、園児一人ひとりの成長記録をとっており、成長できたこと、また、気がかりなことなどはできるだけ情報共有できるよう心掛け、必要な際には個々に話す機会を設け保護者にも伝えるようにしてきた。
③ 保護者が園児の発達について相談しやすい環境となってきたか。	2	降園時の引き渡しの際に保護者1人ひとりと十分に話す時間を設けることが難しかった。子どもたちの様子を外からでも見てもらえるよう、裏門の開門を少し早めたり、担任や教職員の方から子どもの様子を伝えたりするなど心がけたが、以前のように相談しやすい環境とはいえなかった。

3.教職員について

評価項目	評価	取り組み状況
① 現状に満足することなく、保育者が日々保育内容の充実や改善・工夫をしてきたか。	5	今年度も、毎月の目標に対して週ごとのねらいを決め、日案という一日のスケジュールを立てて保育を行った。子ども達が帰ると同学年の担任同士で子ども達の様子を振り返り、主活動の内容はどうであったか日々反省してきた。また状況に応じて昨年度の反省等も振り返りながら、翌日の保育に繋げた。子どもたちの興味関心や好奇心が高まるような環境設定など、園生活で常に子どもたちが心身共に成長できるよう、改善、工夫ができた。
② 教育や保育の課題について教職員間での情報共有・連携がしっかりとなされていたか。	5	毎日の職員朝礼時や夕礼時、また週1回の定例会、月1回の学年主任会議において、子ども達の様子等を情報共有し、教育や保育内容、課題についても話し合いがなされ、共有・連携をとってきた。また、日々の保育後も同学年のみならず、子どもの変化や成長、友だち関係などかかわった教職員が担任等に伝え合い、共有・連携をとってきた。
③ 研修や研究を通じて保育者が自己研鑽に務めていたか。	4	今年度も引き続き、コロナ禍により、研修に参加し辛い状況にあったが、毎朝のネイティブ講師による英語レッスンに加え、保育者自身が苦手な部分の克服に向けた練習を重ねたり、興味のあることに対しては調査・研究を深めるなど、自己研鑽に努めることができた。

4.幼稚園全体について

評価項目	評価	取り組み状況
① 施設・設備の定期的な点検や清掃・整理整頓等、子ども達にとって安心・安全な環境となるように努められたか。	5	年少組前遊具の足場部分のひび割れ部材交換、トランポリンシートの劣化による部材交換など、毎日の教職員の目視・点検及び業者による定期点検により、子ども達に危険が生じる前に修繕・改修ができた。
② 子育て支援事業を積極的に展開することができたか。	3	コロナ禍による社会的な行動制限が徐々に緩和されるに伴い、保育を必要とする園児のために預かり保育を始めとした子育て支援を、コロナ禍以前と同様の頻度で実施することができた。 一方預かり保育に関しては昨年度より定員を増加して対応したものの、利用者の増加により必要な方すべてに子育て支援が行き届かない側面もあった。次年度は教員体制をより充実させ、多くの方々に向けた預かり保育の提供ができるよう尽力していく予定である。
③ 保育参観・懇談会、HPや園便りを通じて、園児の様子や子育てに関する情報を積極的に発信、公開できたか。	4	園便りや定期刊行物に加え、昨年度と同様、密を避けるために保育参観の回数を増やして対応したり、英語の発表会をオンライン形式にしたりするなど、実施方法の工夫で情報発信や公開に努めた。 また、インスタグラム、HPを使用して情報発信に努めた。

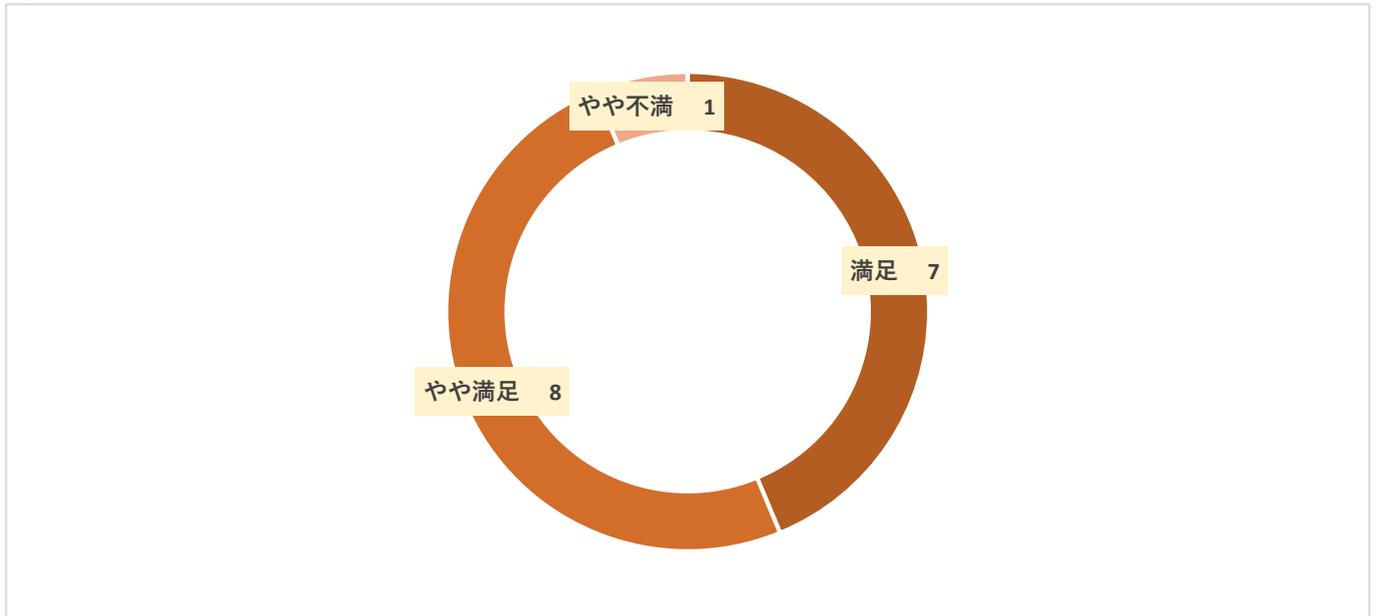
令和4年度 麗澤幼稚園 学校関係者評価

実施日 : 令和5年4月3日～7日

実施方法 : WEBによるアンケート

評価委員 : 父母の会役員 21名 (内回答 16名)

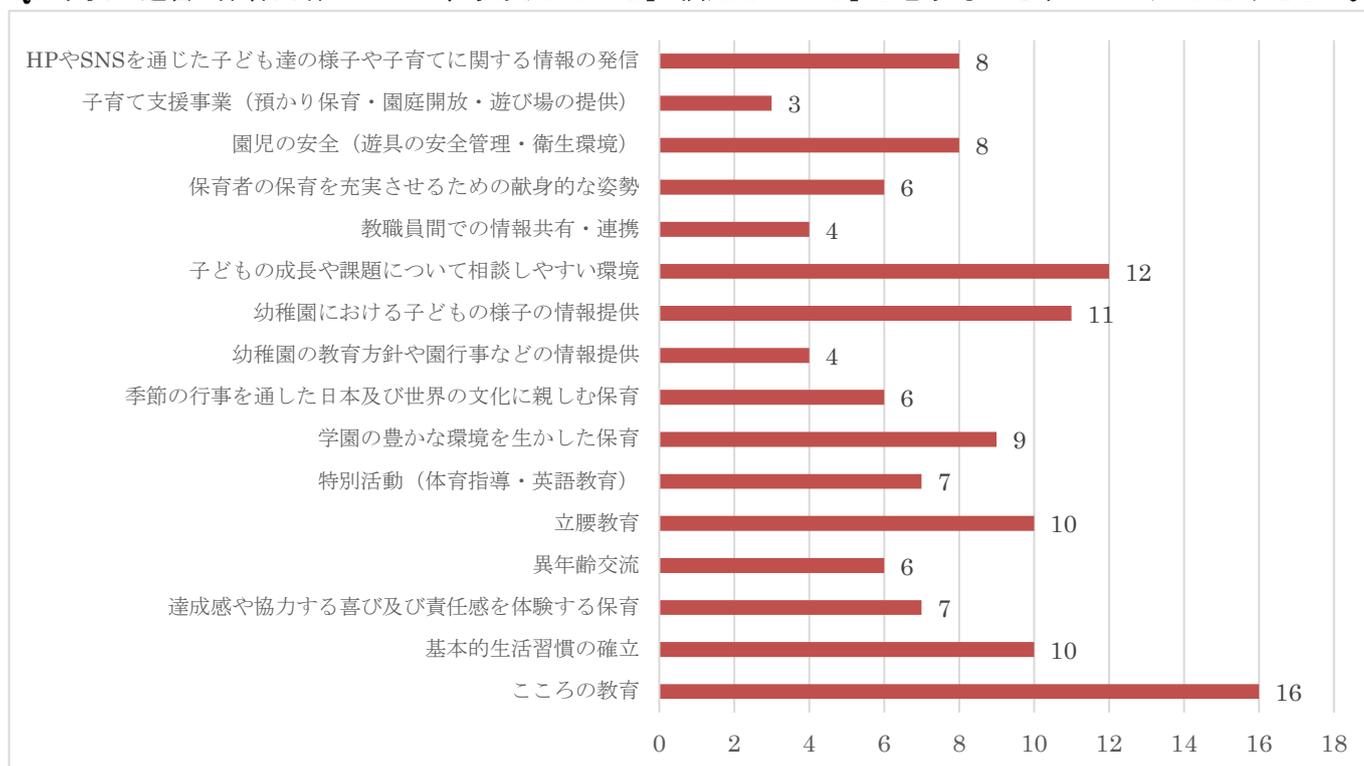
Q1.本園の運営・保育内容について、総合的にどのくらい満足していますか。



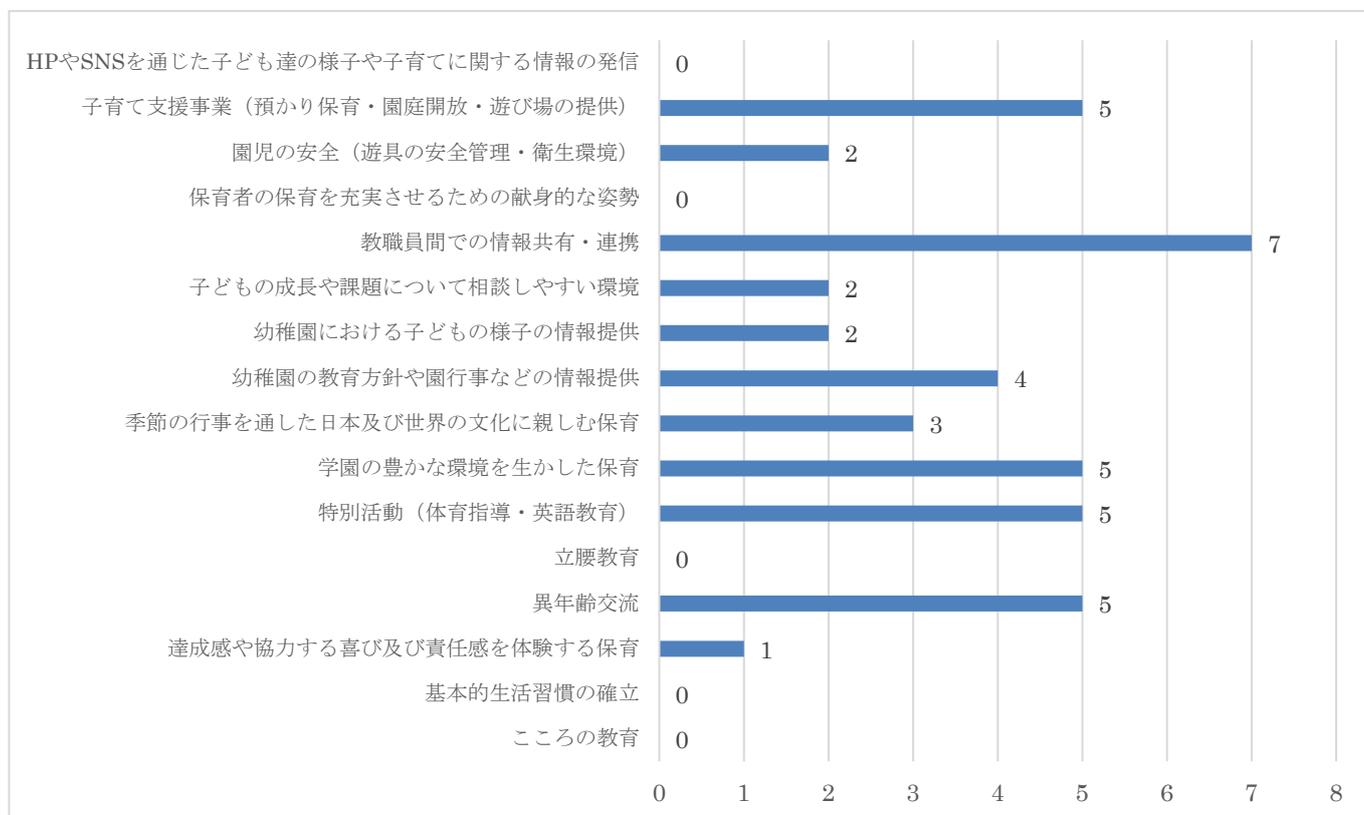
Q2.本園の運営・保育内容に対して「{Q1.}」と回答した理由をお書きください。

- ・担任だけでなく園中の先生が、子供一人一人を覚え、気にかけてくれているのが保護者から見てとても嬉しいし安心できます。コロナにより、年代間や他の団体との交流・経験が通常より制限されているのかなと感じるところが少し残念な点です。
- ・家で嬉しそうに国歌を歌うところや、人の気持ちを考えられるようになっているところ、そして幼稚園が大好きという気持ちに溢れている。
- ・決め細やかで手厚い保育
- ・先生方の子ども達への想いが伝わる。また何か相談事があった時には真摯に対応して頂いている。
- ・子供の活動状況や成長を日々把握してもらえているため。
- ・保護者の意見を受け止めてくれること。たとえ、こちらの意見が通らなかつたり難しかったりしたとしても、一度は受けとめ、説明してくれるので、納得ができる。
- ・その都度先生方が精一杯やって下さっているのが分かり、有り難いと思っている。
- ・担任だけでなく、全ての先生方が園児に関わり見守ってくださる感覚が親としてとても安心できる。保護者もまた幼稚園との関わりが深く、幼稚園での子どもの成長を日常的に感じることができたから。
- ・コロナ禍で色々と大変中、先生方には臨機応変にご対応いただけたと思います。
- ・先生方が常に子ども達のことを考え、よりよい保育を目指し尽力してくれていたと思う。
- ・英語の発表会は配信ではなく、実際に見たかった。
- ・コロナの関係で帰りの会が見られないのが残念だった。

Q3.本校の運営・保育内容について、「充実している」「満足している」と思うものをすべてお知らせください。



Q4.本校の運営・指導内容について、「もっと力を入れてほしい」「改善してほしい」と思うものをすべてお知らせください。



Q5.本園の運営・指導内容、または教職員に対してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

・コロナ禍、本当に色々と大変だったと思いますが、たくさんの思い出や成長をさせていただき感謝の気持ちです。

- ・先生方の献身的な保育のおかげで安心して通わせることができる。
- ・預かり保育の明細をアプリからダウンロードできるようにお願いしたい。
- ・交通安全について子どもに寄り添ったご決断をしていただけたら嬉しい。
- ・芝生やラグビー場をもっと活用してほしい。
- ・保育に関しては先生方は一生懸命やっただいて感謝しかありません。先生方の人数が増え、課外やお預かりなども増えてきて、幼稚園の中の情報共有がしっかりできていれば保護者としても安心。
- ・コロナ禍に入り子ども達の様子を見る機会が減ってしまったため、参観をもっとしてほしい。
- ・遠足で雨天の際は行先を変更するのではなく、振替にしてほしかった。
- ・絵画や制作など芸術面の活動を増やしてほしい。
- ・お料理の活動を実施してほしい。
- ・行事前に英語をやっていない期間があった。事前に説明をしてほしかった。
- ・引き渡しの際に毎回子ども達の様子を一言でもいいので聞きたかった。
- ・保護者への説明を丁寧にして欲しかった。
- ・預かり保育がもっと利用しやすいようにしてほしい。